



松浜市と松浜商店街
を紹介します



松浜市に ついて

松浜市は、明治6年に阿賀野川の浅瀬を埋め立てて作りました。

場所は松浜本町4丁目（新屋敷）で、本町4丁目を造成後、市が始まりました。四季を通じて衣料品・海産物・青果物・切花などが並んでいます。

松浜市の特徴は、松浜漁港が近くにあり、新鮮な海産物が多いことと、旬の野菜や果物など近郷農家の方々が出店していることです。

市がやっている日は、2と7がつく日です。

松浜商店街 について

商店街の雰囲気

地域に根ざした個人商店などがあります。八百屋や時計屋、精肉店など、地域に根ざした個人商店が点在しており、地域住民にとって大切な役割を担っています。

コミュニケーションの場

お店で商品を購入するだけでなく、店員や近所の人とコミュニケーションを取る場としての機能ももっています。

無料休憩所「こらぼ家」

第四北越銀行松浜支店前にある無料休憩所で、買い物や町歩きの合間に休憩できます。

松浜商店街何年に立ったか

1873年（明治6年）に阿賀野川の浅瀬を埋め立てて新屋敷を造成した後に取り組みました。

松浜商店（市場）が作られた理由

地域の台所として住民の生活を支えるためだそうです。